

## 12月議会での一般質問要旨

平成24年度予算要望書提出

1. 要援護者の方々に救急医療情報キットの配布をすべきだ。
2. パチンコ、競馬など「ギャンブル依存症」の実態と対策は
3. 三世代同居、近居の世帯を増やすべき、支援策を講じては

1. 迅速な救命につながる命の「バトン」救急医療情報キットは、筒状のプラスチックケースの中に、氏名、生年月日、血液型のほか、かかりつけ医療機関、持病や薬剤情報、緊急連絡先等をA4サイズのシートに書き入れ、冷蔵庫に保管するもの。高齢者世帯、障がい者世帯への緊急時の事故等への対応がスムーズに行える。胎内市や上越市他、全国的に導入が進んでいる。市も取組むべき。(市長)他市の状況をなど調査し、当市も導入を検討する。

2. ギャンブル依存症は世界保健機構(WHO)では「病的賭博」と位置付けている世界共通の病氣。これに起因した自殺や犯罪、

破産や家庭崩壊に至る事例は、当市に於いて確認しているか。

(市長)パチンコ必勝法を売るサギの被害が発生している。依存症と疑われる本人や家族の相談があれば、専門の医療機関や弁護士等を紹介している。

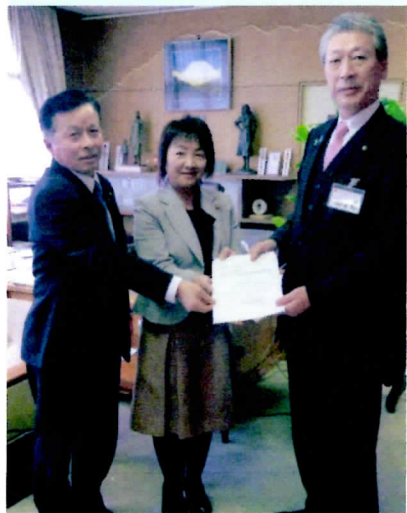
3. 国土交通白書では、三世代同居率の高い地域で女性の有業率、出生率がともに高い。家族の絆を深め、高齢者の孤立化や、認知症の予防、介護、育児、家庭教育等より良い効果が期待できる、三世代同居の支援は出来るか。

(市長)生活スタイル、個人の価値観の違いから当市の三世代同居の割合は年々減少している。現在、支援は考えていない。

12月22日 公明党市議団として石山洋子議員と共に「平成24年度予算編成要望書」を二階堂市長に提出した。

要望事項は5分野78項目で重点項目は地域経済の活性化と緊急雇用対策の実施。鳥獣被害防止対策、うつ病対策、介護施設待機者解消に向けた施設整備、女性の視点を取り入れた防災計画等を求めた。

市長は十分検討させていただくと答えた。



### 要望書提出の紹介議員となる(平成23年11月8日)

新発田市食生活改善推進委員協議会の佐藤ミネ会長と新発田、豊浦、紫雲寺、加治の各地域の推進協議会、代表4名が、二階堂市長へ協議会の活動状況など説明。市保健センター内の調理室の設備改善並びに増設。新庁舎に研修が可能な「調理室の設置」や「食に関する交流の場」 地元食材を活用する「飲食店の設置」も要望した。